

キャラクター名 アネモネ	プレイヤー名
-----------------	--------

種族	ノーブルエルフ	種族特徴	暗視、剣の加護/水の申し子、カリスマ、弱点(物理+2)		
生まれ	魔導貴師	性別	女性	年齢	約8806歳
冒険者Lv	15	経歴	大きな肖像画を描いてもらった 今でも使うキメ台詞を持っている 大切な約束をしている		
経験点	7860				

技	9	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
		器用度	8	9		26	4
体	4	敏捷度	9	21		39	6
		筋力	2	7		13	2
心	15	生命力	11	14		29	4
		知力	12	35	62 + 2	10	
		精神力	12	29		56	9

技能	Lv.	技能	Lv.	技能	Lv.	技能	Lv.
ソーサラー	2	セージ	12				
コンジャラー	15	エンハンサー	5				
プリースト/エックザッカ	11	デーモンルーラー	1				
フェアリーティマー	2						
マジテック	1						
スカウト	3						
レンジャー	9						

戦闘特技			
ルーンマスター	IB34p		p
治癒適性	2122p		p
不屈	2123p		p
ポーションマスター	2123p		p
鋭い目	2120p		p
弱点看破	2121p		p
マナセーブ	2123p		p
マナ耐性	3144p		p
魔法誘導	IB32p		p
魔法収束	IB39p		p
魔法制御	IB32p		p
鷹の目	IB30p		p
マリオネット	IB38p		p
ダブルキャスト	IB37p		p
魔法拡大/数	IB39p		p
魔法拡大/確実化	IB38p		p
	p		p
	p		p

技能	基本	基本	基本追加	必要			
	レベル	命中力	回避力	ランク	筋力	回避力	防護点
ファイター	0				1	0	6
グラブラー	0						
フェンサー	0						
シューター	0						
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)							
回避技能						合計値	0 7

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
支配の杖 <small>【クリエイト・ゴーレム】で製作したゴーレムに触れると命令を変更出来る</small>	2H	1	1	2d+ 1	12	1	11										
スパイラルホワイトロッド <small>【ルシエロイネ魔導術】の秘伝の使用に必要、行使する魔法のダメージ+2、難あり</small>	1H	1	1	2d+ 1	12	0	6										
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP	魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
3 m	41 m	123 m	2d+ 0	7	71	真語魔法	2	12	魔動機術	1	11
						操霊魔法	15	25	召異魔法	1	11
						深智魔法	2	25			
						神聖魔法	11	21			
						妖精魔法	2	12			

装備品	説明	装備品	説明
頭			
耳 数多の蝙蝠の耳飾り	「部位:耳」枠を追加。見えない状態等のペナルティを-2に軽減	叡知の魔紋	知力+2、破壊すると知力+1 4
顔 学者の眼鏡	「セージ技能+知力B」判定に+1		
首 血水晶のチョーカー	破壊すると即座にHPを20点回復	叡知の魔紋	知力+2、破壊すると知力+1 4
背中 野伏のセービングマント	「部位:背中」枠を追加。回避力判定や生命 精神抵抗力判定の失敗時、魔法ダメージ-4	左手 正しき信念のリング	精神抵抗判定+2
右手 光魔の印	魔法の発動時、「ティルダナル古代光魔覚」の秘伝の宣言に必要	聖印	神聖魔法の行使に必要
腰 多機能再生のベルト	「部位:腰」枠を追加。「1」点以上の物理ダメージを受けた時、即座にHPを「1」点回復する		
足			
その他多機能ブラックベルト	「部位:腰」枠を追加。防護点+1	勇者の証・心	他/他/他後の成長の出目に「5」/「6」が含まれていなかった場合、追加で1個振ってそれを採用する

その他メモ	自動失敗
本名：アネモネ・コロナリウス 魔法文明時代初期から生き続ける侯爵家のノーブルエルフ娘。 AD194年生まれで、侯爵家の長女として誕生。24歳年上の兄がいた。 家が操霊魔法、特にゴーレムの研究をしており、その研究に没頭する。	チェック <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑩ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑮ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑳ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉑ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉒ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉓ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉔ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉕
魔法文明時代はガヴァネス（家庭教師）として、他の貴族の子息・息女に基礎教養や淑女としての教育をしていた。 本来ガヴァネスは士族身分が多いのだが、侯爵家は兄が継ぐ為に自らガヴァネスに立候補し、それを務めていた。 魔法文明の滅亡と共に貴人としての能力は失ってしまったが、元々あまり使わない能力だった為、気にしていない。	
魔動機文明時代は各地を転々としつつ、操霊魔法の研究をし続けていた。 魔動機の技術をゴーレムに転用出来るのではないかと魔動機術の勉強をしたが、恐ろしく適性が無かった模様。	

